

2015年1月7日

2016年度 第6回全学教研（8月29日開催）の実行委員募集！

全学運営協議会

私学の存在意義は豊かな教育実践創造の営みにある

手づくりの全学教研に期待する

学園長 仲本正夫

全学教研に高校生が登場したことの意義

「学ぶとは？」をテーマに開かれた昨年8月29日の第5回全学教研は、「プレ企画」に続いて、先生たちに自分たちの思っていることを訴えたいという高校生たちが登場したことが大きな特徴となり、同時に、全学教研の新しい可能性を切り開くものとなりました。

この高校生の登場について、共同研究者の佐藤隆先生は、「まとめ」への「寄稿」で「生徒自らが学びの主体として自覚した歴史的な瞬間であり、ともに『なぜ学ぶの？』を探究する「カリキュラム」の共著者としての存在であることを示したものであった。」「だからこそ、湘南学園の先生たちにはもう一方の共著者として、そして伴走者として彼らを受け止め、ともに悩み、さらなる成長を促してほしいと願いたい。」（資料参照）という非常に重要な指摘がなされています。

手づくりの全学教研の意義

湘南学園の全学教研の大きな特徴は、手づくりの教研として発展してきているということです。

その意義については、「全学教研のまとめ」でもふれましたが、何と言っても身近な教師たちの工夫や努力、喜びや苦しみなどの息づかいが直に聞こえ、ともに考える教研になっていることでしょう。

だから、湘南学園全学教研は、現場の教師による現場の教師のための教研ということができます。それは、私学としての存在価値を高める全教員による湘南学園流の学校づくりの営みそのものです。

その全学教研は、現場で同じ空気を吸っている実行委員によって、現場の教師にとって何がもっとも求められているのかを教研テーマ等から話し合っ、ゼロからつくりあげるものです。

総合学園ならではの特質を生かし、日々現代の子どもたち・生徒たちの幼年期から青年期にかけての成長発達について深く理解し、視野を広げ、子どもたち・生徒たちにどのような働きかけをすることが、その可能性を開花させていくことができるのかを深く探求していく場です。

実行委員会形式は4年目になります。各パートにおいては実践レポートの提出をはじめ、実行委員に対するバックアップをよろしくお願いいたします。

第6回の全学教研成功のために、今年も積極的に実行委員になっていただくことを期待します。

2016年度開催第6回全学教研 実行委員募集

締 切	2016年2月16日（火）
人 数	幼稚園 1名、小学校 2名、中 高 3名
申し込み先	各パート校長（教頭）・園長（副園長）
実行委員会	2月中に第1回（実行委員会のスタート、顔合わせ等）